

平成 23 年度 環境監視結果年報

平成 24 年 10 月

中部国際空港株式会社

はじめに

中部国際空港株式会社は、平成 22 年 4 月に「空港島及び空港対岸部に係る環境監視計画」を「中部国際空港に係る環境監視計画」に改定し、平成 22 年度よりこれに基づく環境監視を実施している。

本書は、この環境監視計画に定める調査項目である航空機騒音について、平成 23 年度（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）の調査結果を「環境基準値との比較」、「開港後の推移」の 2 つの観点から、それぞれ整理することにより、中部国際空港の供用が周辺地域に与える環境影響の程度を把握し、年報としてとりまとめたものである。

とりまとめにあたっては、中部国際空港株式会社が設置する公正・中立の立場の「中部国際空港の航空機騒音に関する検討委員会」において、科学的、客観的な検討・評価を受けた。

目 次

1 気象の状況	(1)
2 空港の運用状況	(3)
3 環境監視結果及び評価	
航空機騒音	(8)
(1) 環境監視結果	(8)
ア 常時監視結果	(10)
イ 定期監視結果	(17)
(2) 航空機騒音の項目別比較検討	(21)
ア 環境基準値との比較	(21)
(ア) 常時監視結果	(21)
(イ) 定期監視結果	(21)
イ 開港後の推移	(26)
(ア) 常時監視結果	(26)
(イ) 定期監視結果	(27)
(3) 航空機騒音の評価	(29)

参考資料

1 気象の状況

(1) 気象観測

気象庁による名古屋地方気象台、中部航空地方気象台、東海及び南知多地域気象観測所の気象観測結果は表 1-1 のとおりであり、中部航空地方気象台における風向出現頻度は図 1-1 のとおりである。

平成 23 年度の中部航空地方気象台における最多風向は北西であり、全体の 17.3% を占めた。

また、航空機の運航への影響が大きい台風は、7月に第6号、9月に第12号と15号が東海地方に接近したが、愛知県に上陸はしなかった。

表 1-1 名古屋、セントレア、東海、南知多における気象観測結果

気象要素	地点	平成23年										平成24年			年間
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
平均風速 (m/s)	名古屋	3.5 (3.2)	3.0 (3.0)	2.7 (2.7)	3.0 (2.6)	2.6 (2.7)	3.5 (2.6)	3.0 (2.6)	2.6 (2.6)	3.1 (2.7)	3.0 (3.0)	3.4 (3.3)	3.6 (3.5)	3.1 (2.9)	
	セントレア	5.5	4.9	3.8	4.9	4.1	6.6	5.5	5.3	7.2	6.6	7.0	6.3	5.6	
	東海	1.6 (2.2)	1.2 (1.9)	1.0 (1.6)	1.5 (1.5)	1.1 (1.6)	1.7 (1.4)	1.1 (1.4)	1.2 (1.6)	1.7 (1.9)	1.7 (2.3)	2.0 (2.6)	2.0 (2.6)	1.5 (1.9)	
	南知多	3.4 (1.9)	2.7 (1.6)	2.1 (1.3)	2.5 (1.2)	2.2 (1.3)	3.5 (1.3)	2.9 (1.5)	2.8 (1.6)	3.7 (1.9)	3.5 (2.1)	3.9 (2.3)	4.0 (2.2)	3.1 (1.7)	
最多風向 (16方位)	名古屋	NNW	NNW	SSE	SE	SSE	SSE	NNW	NNW	NNW	NNW	NNW	NNW	NNW	
	セントレア	NW	ESE	ESE	SE	SE	SE	NNW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	
	東海	NW	ESE	ESE	ESE	ESE	ESE	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	
	南知多	NW	NW	S	S	S	SE	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	

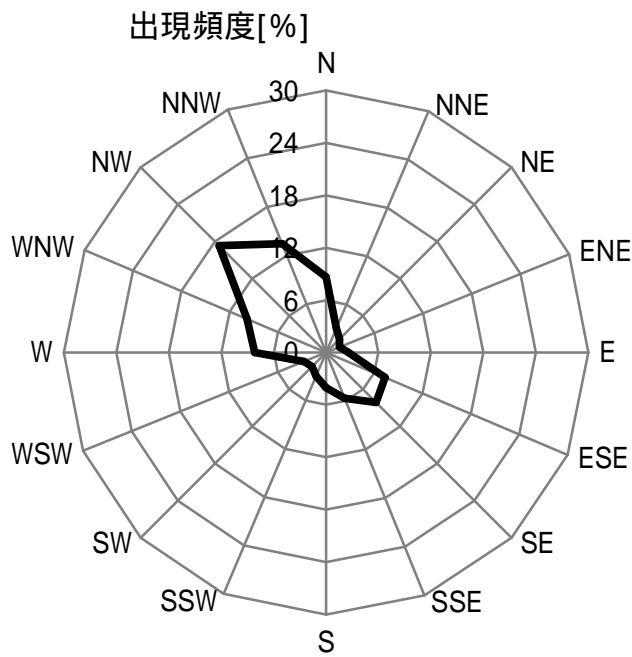
注1. 名古屋は名古屋地方気象台、セントレアは中部航空地方気象台、東海および南知多は地域気象観測所を示す。

2. 名古屋の欄の下段()内の数値は、昭和46年～平成12年の30年平均値(平年値)である。

3. 東海及び南知多の欄の下段()内の数値は、昭和54年～平成12年の22年平均値(準平年値)である。

4. 年間の欄の数値は、年間の平均風速及び年間の最多風向である。

調査期間：平成23年4月1日～
平成24年3月31日



方位	出現頻度 (%)
N	8.6
NNE	3.0
NE	2.1
ENE	1.6
E	2.6
ESE	7.3
SE	8.1
SSE	5.7
S	4.0
SSW	2.9
SW	2.3
WSW	2.7
W	8.2
WNW	9.8
NW	17.3
NNW	13.4
CALM	0.2

静穏(風速0.2m/s以下)の
出現頻度:0.2%

出典:中部航空地方気象台刊行のセントレアの気象(月報)から集計、作成。

図 1-1 中部航空地方気象台における風向出現頻度(風配図)

2 中部国際空港の運用状況

平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月の中部国際空港の運用実績一覧については、表 2-1 のとおりである。

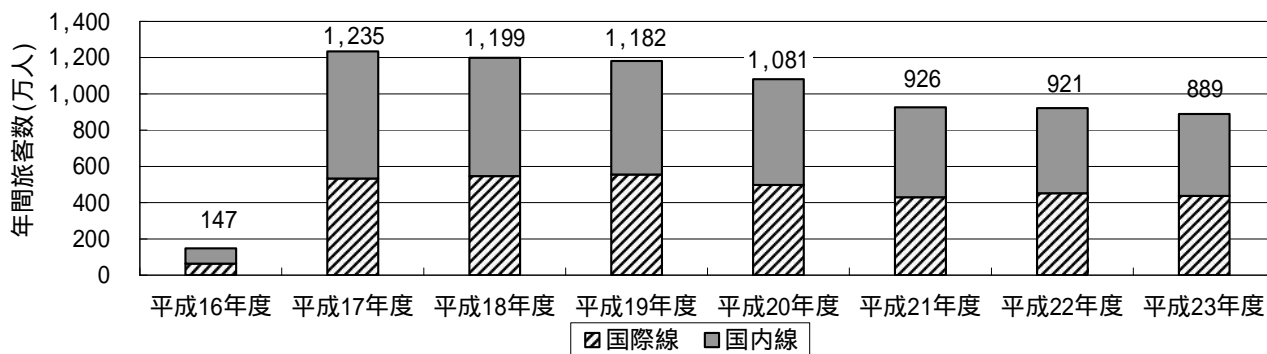
中部国際空港における航空年間旅客数、航空年間貨物取扱量は図 2-1、図 2-2、航空機の年間発着回数の開港からの年度別推移は図 2-3 のとおりである。

また、航空機発着の年間運用比率は図 2-4 およびその年度推移は図 2-5、航空機の最大離陸重量別年度推移は図 2-6 のとおりである。

表 2-1 中部国際空港の実績一覧

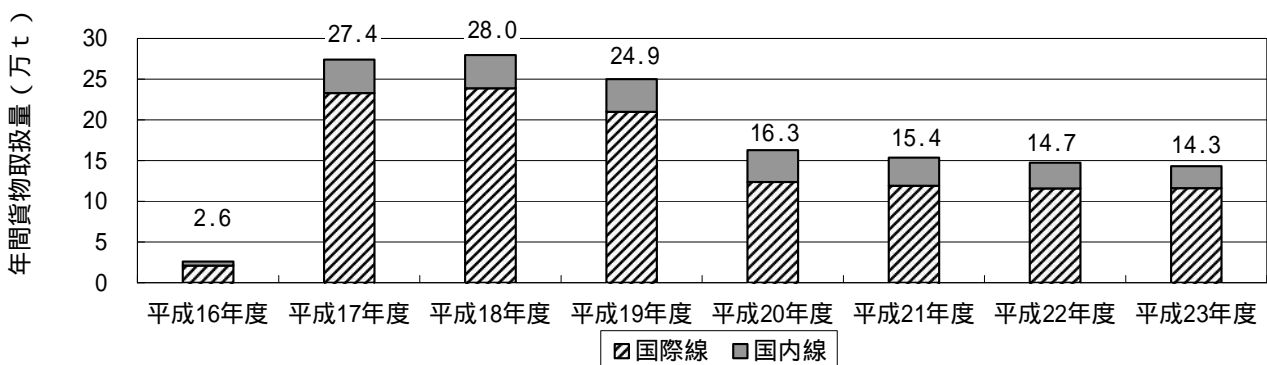
区 分	単 位	確定値														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年度計
1. 航空旅客数	人	582,427 (78)	658,283 (83)	663,947 (86)	755,066 (93)	919,463 (97)	780,056 (94)	4,359,242 (89)	833,139 (104)	749,879 (103)	693,024 (106)	695,355 (103)	723,128 (104)	836,964 (108)	4,531,489 (105)	8,890,731 (97)
国際線	"	304,812 (81)	321,589 (86)	326,902 (88)	361,664 (93)	427,200 (96)	365,381 (93)	2,107,548 (90)	388,405 (103)	366,125 (106)	360,011 (108)	362,387 (102)	363,080 (105)	427,268 (105)	2,267,276 (105)	4,374,824 (97)
国内線	"	277,615 (75)	336,694 (81)	337,045 (85)	393,402 (94)	492,263 (98)	414,675 (95)	2,251,694 (89)	444,734 (105)	383,754 (101)	333,013 (103)	332,968 (105)	360,048 (103)	409,696 (112)	2,264,213 (105)	4,515,907 (96)
2. 航空機発着回数	回	6,606 (95)	6,729 (93)	6,603 (92)	6,937 (92)	7,456 (98)	6,642 (91)	40,973 (94)	7,267 (104)	6,661 (105)	6,743 (101)	6,841 (104)	6,553 (106)	7,099 (103)	41,164 (104)	82,137 (98)
国際線	"	2,433 (96)	2,438 (90)	2,389 (94)	2,443 (90)	2,551 (93)	2,372 (88)	14,626 (92)	2,542 (97)	2,399 (100)	2,483 (99)	2,521 (100)	2,344 (102)	2,591 (97)	14,880 (99)	29,506 (95)
旅客便	"	2,256 (96)	2,260 (89)	2,213 (92)	2,303 (90)	2,422 (93)	2,229 (89)	13,683 (92)	2,361 (99)	2,248 (103)	2,353 (102)	2,374 (99)	2,190 (102)	2,416 (100)	13,942 (101)	27,625 (96)
貨物便	"	88 (90)	103 (184)	105 (194)	86 (159)	69 (138)	69 (97)	520 (136)	79 (77)	84 (87)	70 (69)	85 (113)	99 (141)	105 (106)	522 (96)	1,042 (112)
その他	"	89 (82)	75 (61)	71 (84)	54 (57)	60 (57)	74 (66)	423 (67)	102 (80)	67 (67)	60 (56)	62 (97)	55 (79)	70 (46)	416 (67)	839 (67)
国内線	"	4,173 (94)	4,291 (95)	4,214 (91)	4,494 (94)	4,905 (94)	4,270 (92)	26,347 (95)	4,725 (108)	4,262 (103)	4,260 (103)	4,320 (106)	4,209 (109)	4,508 (106)	26,284 (107)	52,631 (100)
旅客便	"	4,040 (92)	4,172 (95)	4,083 (91)	4,347 (93)	4,712 (100)	4,149 (92)	25,503 (94)	4,553 (107)	4,142 (106)	4,153 (103)	4,212 (107)	4,033 (106)	4,310 (105)	25,403 (106)	50,906 (99)
貨物便	"	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (-)	0 (-)	1 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (-)	2 (-)
その他	"	133 (242)	119 (94)	131 (102)	147 (99)	192 (122)	121 (98)	843 (114)	172 (167)	120 (200)	106 (98)	108 (94)	176 (220)	198 (192)	880 (155)	1,723 (132)
3. 国際貨物取扱量	t	9,547 (93)	8,828 (89)	9,761 (101)	9,495 (100)	8,358 (88)	9,511 (86)	55,500 (93)	10,741 (98)	10,948 (116)	9,957 (108)	8,775 (114)	9,691 (126)	10,389 (96)	60,501 (108)	116,001 (100)
積込	"	4,628 (99)	4,136 (85)	5,056 (102)	4,257 (94)	4,044 (92)	4,404 (87)	26,525 (93)	5,327 (95)	5,411 (129)	5,046 (114)	4,500 (118)	4,617 (118)	4,676 (90)	29,577 (109)	56,102 (101)
取卸	"	4,919 (88)	4,692 (93)	4,705 (100)	5,238 (105)	4,314 (85)	5,107 (85)	28,975 (92)	5,414 (102)	5,537 (106)	4,911 (102)	4,275 (110)	5,074 (133)	5,713 (101)	30,924 (108)	59,899 (100)
4. 国内貨物取扱量	"	2,257 (83)	2,051 (86)	2,234 (90)	2,337 (85)	2,204 (89)	2,295 (91)	13,377 (87)	2,360 (87)	2,253 (77)	2,728 (82)	1,960 (89)	2,087 (89)	2,368 (82)	13,756 (84)	27,133 (85)
発送	"	1,250 (86)	1,050 (87)	1,196 (92)	1,303 (91)	1,236 (94)	1,237 (91)	7,272 (90)	1,297 (89)	1,347 (78)	1,547 (76)	1,059 (83)	1,086 (78)	1,226 (77)	7,561 (80)	14,834 (85)
到着	"	1,007 (81)	1,001 (85)	1,038 (88)	1,034 (78)	967 (83)	1,058 (91)	6,105 (84)	1,063 (85)	906 (76)	1,182 (91)	901 (97)	1,001 (104)	1,142 (87)	6,194 (89)	12,299 (86)
5. 給油量	kl	38,480 (90)	39,521 (86)	40,287 (93)	40,802 (91)	41,662 (91)	37,702 (89)	238,453 (90)	41,022 (102)	39,065 (104)	41,223 (101)	42,364 (100)	39,250 (110)	43,285 (104)	246,210 (103)	484,663 (96)
6. 構内営業売上高	百万円	1,387 (88)	1,451 (90)	1,406 (98)	1,610 (102)	1,909 (99)	1,588 (98)	9,351 (96)	1,706 (106)	1,624 (105)	1,695 (109)	1,536 (107)	1,513 (103)	1,679 (109)	9,754 (106)	19,105 (101)
免税店	"	584 (85)	575 (89)	610 (100)	662 (105)	726 (100)	662 (101)	3,819 (97)	710 (110)	664 (110)	721 (113)	665 (110)	646 (102)	666 (107)	4,072 (109)	7,890 (102)
一般物販店	"	513 (90)	560 (92)	504 (98)	591 (99)	745 (98)	578 (96)	3,492 (96)	646 (106)	636 (101)	622 (107)	551 (105)	535 (101)	634 (112)	3,625 (105)	7,117 (100)
飲食店	"	290 (91)	317 (89)	293 (93)	356 (99)	437 (98)	348 (98)	2,040 (95)	350 (101)	323 (102)	352 (107)	321 (105)	332 (105)	380 (107)	2,058 (104)	4,098 (99)
7. 来場者数	千人	766 (85)	826 (89)	804 (93)	956 (100)	1,121 (98)	932 (98)	5,407 (94)	955 (101)	878 (101)	887 (106)	842 (104)	870 (103)	998 (105)	5,429 (103)	10,836 (99)
8. 駐車場利用台数	千台	97 (94)	106 (95)	95 (96)	120 (103)	153 (103)	115 (99)	686 (99)	110 (100)	100 (103)	111 (111)	107 (108)	103 (105)	122 (107)	653 (106)	1,339 (102)

注1 ()内数値は対前年同月比。
 注2 国際貨物取扱量は名古屋税関中部空港税関支署発表のもの。
 注3 集計差は端数処理の誤差。



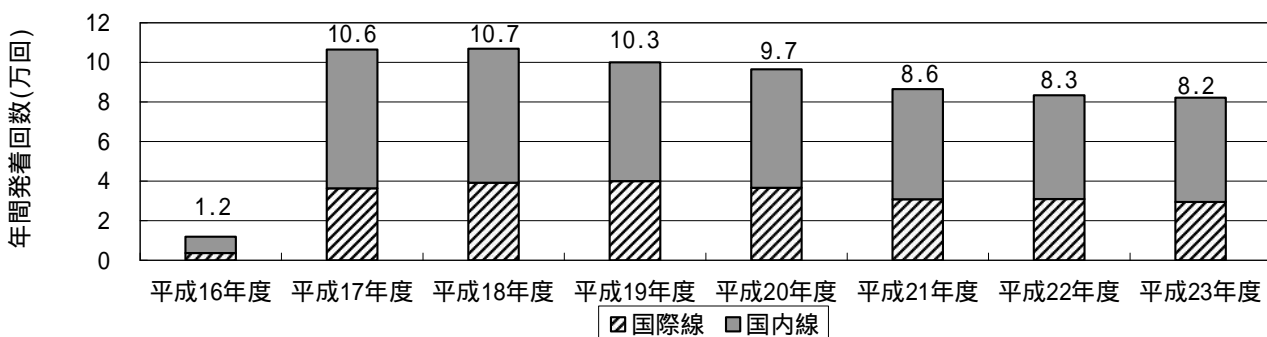
- 注 1. 平成 16 年度の空港運用日数は、43 日間（平成 17 年 2 月 17 日～3 月 31 日）である。
 2. 数値は図は国際線、国内線の合計値を示す。

図 2-1 航空年間旅客数の推移



- 注 1. 平成 16 年度の空港運用日数は、43 日間（平成 17 年 2 月 17 日～3 月 31 日）である。
 2. グラフ中の数字は国際線、国内線の合計値を示す。

図 2-2 航空年間貨物取扱量



- 注 1. 平成 16 年度の空港運用日数は、43 日間（平成 17 年 2 月 17 日～3 月 31 日）である。
 2. グラフ中の数字は国際線、国内線の合計値を示す。

図 2-3 航空機の年間発着回数

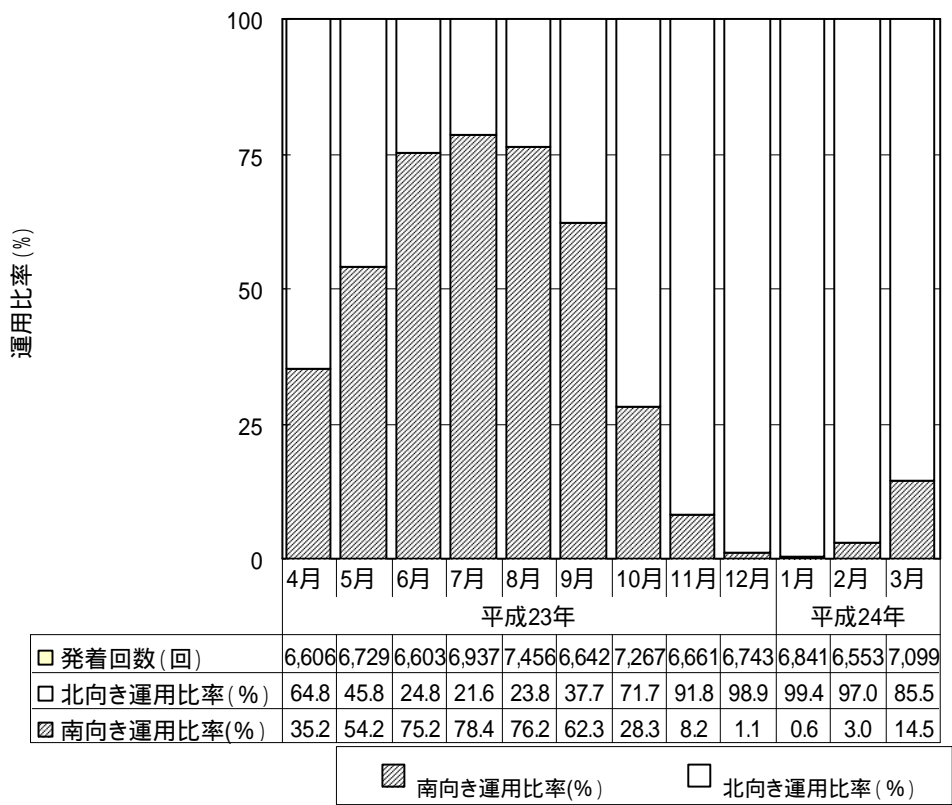
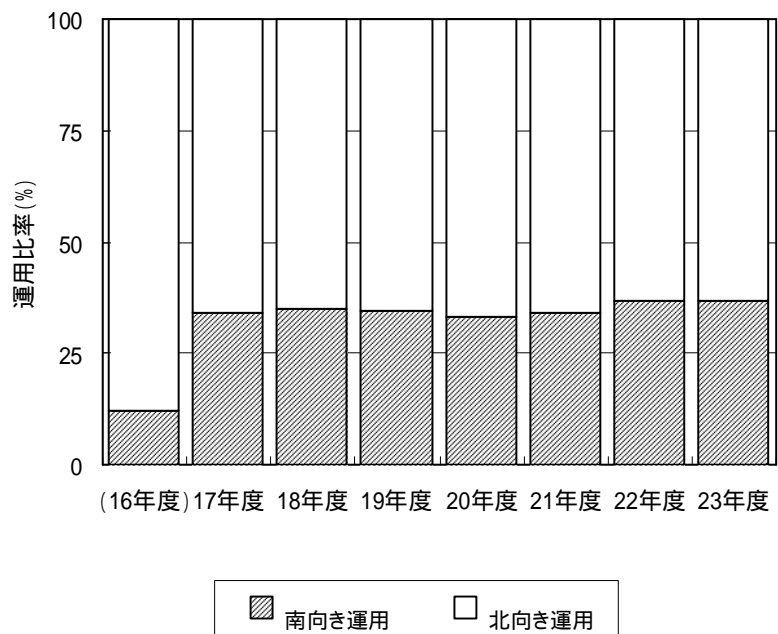


図 2-4 航空機発着の運用比率



注. 平成 16 年度は 2 月 17 日～3 月 31 日の運用比率であり、参考として示した。

図 2-5 航空機発着の運用比率の年度推移

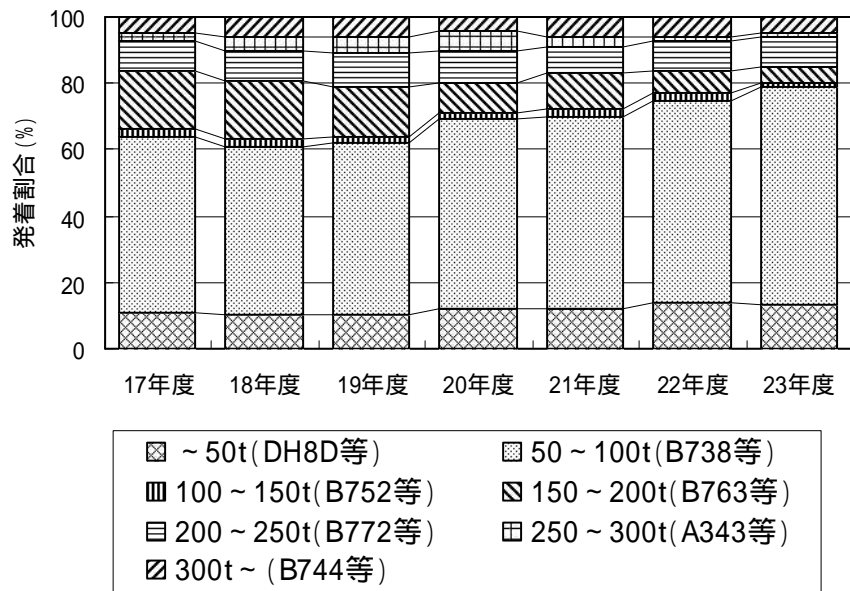


図 2-6 最大離陸重量別年度推移

3 環境監視結果及び評価

航空機騒音

(1) 環境監視結果

航空機騒音の調査期間及び調査地点については表 3-1 のとおりである。

常時監視は平成 17 年の開港時から常滑市立鬼崎中学校、美浜町野間(ちびっこ広場)、弥富市立大藤小学校及び木曾岬町東部公民館の 4 地点において行っている。

また、本年度の定期監視は平成 23 年 6 月 4 日～24 日(1 回目)、平成 24 年 2 月 4 日～24 日(2 回目)に 10 地点で行った。

航空機騒音の調査地点は、図 3-1 のとおりである。

表 3-1 調査期間及び調査地点

項目		調査期間	調査地点数
常時監視		平成23年4月1日～平成24年3月31日	4地点
定期監視	1回目	平成23年6月4日～24日 ^{注)}	10地点
	2回目	平成24年2月4日～24日 ^{注)}	10地点

常時監視地点	
	常滑市立鬼崎中学校
	美浜町野間(ちびっこ広場)
	弥富市立大藤小学校
	木曾岬町東部公民館

定期監視地点	
T1	常滑市立常滑西小学校
T2	南知多町町民会館体育館
A1	愛西市役所
A2	弥富市立十四山西部小学校
A3	弥富市鍋田公民館
M1	桑名市大山田地区市民センター
M2	木曾岬町農村集落多目的共同利用施設
M3	四日市市海蔵地区市民センター
M4	伊勢市神社みなとまち館
M5	鳥羽市立鳥羽東中学校

注 1. 定期監視は各調査地点について調査期間のうち 7 日間連続で実施した。

2. ~ 及び T1～M5 は次ページの図 3-1 の地点番号に対応する。



図 3-1 航空機騒音の調査地点（常時監視及び定期監視）

ア 常時監視結果

常滑市立鬼崎中学校、美浜町野間（ちびっこ広場）、弥富市立大藤小学校及び木曾岬町東部公民館における環境監視結果は、表 3-2 のとおりである。

WECPNL の年間値は、常滑市立鬼崎中学校では 56、美浜町野間（ちびっこ広場）では 55、弥富市立大藤小学校では 56、木曾岬町東部公民館では 56 であった。

各調査地点における月別の WECPNL 及び測定された機数は図 3-2 のとおりである。なお、「測定された機数」は、暗騒音より 10dB 以上高い騒音が測定された機数であり、実際に飛行した航空機数とは異なる。

WECPNL の月間値は、常滑市立鬼崎中学校では 6 月～9 月の間が 52～53 と低く、その他の月は 55～58 と高い値であった。美浜町野間（ちびっこ広場）では 5 月～9 月の間が 50～53 と低く、その他の月は 54～57 と高い値であった。これらに対し弥富市立大藤小学校では 11 月～3 月が 43～53 と低く、その他の月は 56～59 と高い値であった。木曾岬町東部公民館では弥富市立大藤小学校と同様の傾向がみられ、11 月～3 月が 43～54 と低く、その他の月が 56～59 と高い値であった。

月別の測定された機数は、常滑市立鬼崎中学校では 6 月～9 月が 400～1,200 機台と少なく、中でも 8 月が 470 機と最も少なかったが、4 月、5 月と 10 月～3 月は 1,500～2,700 機台であった。美浜町野間（ちびっこ広場）は常滑市立鬼崎中学校と同様の傾向であり、5 月～9 月が 300～1,300 機台と少なく、中でも 8 月が 301 機と最も少なかったが、4 月と 10 月～3 月は 1,900～3,100 機台であった。これに対し弥富市立大藤小学校では 11 月～3 月が 200～500 機台と少なく、中でも 1 月が 204 機と最も少なかったが、4 月～10 月は 1,100～2,300 機台であった。木曾岬町東部公民館は弥富市立大藤小学校と同様の傾向であり、11 月～3 月が 100～500 機台と少なく、中でも 1 月が 175 機と最も少なかったが、4 月～10 月は 1,000～2,400 機台であった。年間機数では常滑市立鬼崎中学校で最も多く、次いで美浜町野間（ちびっこ広場）、弥富市立大藤小学校、木曾岬町東部公民館の順で、常滑市立鬼崎中学校及び美浜町野間（ちびっこ広場）が 22,000 機程度であり、弥富市立大藤小学校及び木曾岬町東部公民館は 14,000 機程度であった。

なお、各調査地点の測定機数は、空港島周辺の風向きが運用方向に影響するため、空港島の近くにある常滑市立鬼崎中学校と南側にある美浜町野間（ちびっこ広場）では、冬場の北風が吹くときに多くなっている。

一方で、空港島の北側にある弥富市立大藤小学校と木曾岬公民館では夏場に南風が吹くときに多くなっている。

また、各調査地点における最大離陸重量別の測定された機数は、図 3-3 のとおりである。なお、最大離陸重量別の主な航空機材リストは表 3-3 のとおりである。

最大離陸重量別に各調査地点において測定された機数は、50～100t（ボーイング 737 等）の機材が最も多く、次いで 200～250t（ボーイング 777 等）の機材が多かった。

年間のピークレベルの度数分布は、表 3-4 のとおりである。常滑市立鬼崎中学校では測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 60～65dB（測定された機数の年間合計に占める割合 51.3%）であった。なお、70dB 以上の機数の割合は 1.7%であった。美浜町野間（ちびっこ広場）では測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 55～60dB（同 55.9%）であり、70dB 以上の機数の割合は 0.7%であった。弥富市立大藤小学校では測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 60～65dB（同 49.5%）であり、70dB 以上の機数の割合は 2.8%であった。木曾岬町東部公民館では測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 60～65dB（同 50.6%）であり、70dB 以上の機数の割合は 2.8%であった。

表 3-2(1) 航空機騒音調査結果 (常滑市立鬼崎中学校)

年月	WECPNL	ピーク レベル の パワー 平均値 (dB)	測定された機数(機)								測定 日数 (日)	備考
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 0:00	月間 合計	日平均	月間 加重 合計 ^{注1)}	加重 合計の 日平均		
平成23年4月	57	63	113	1,673	316	105	2,207	74	4,801	160	30	
5月	55	62	37	1,187	280	92	1,596	51	3,317	107	31	
6月	53	61	20	762	223	69	1,074	36	2,321	77	30	
7月	52	61	28	360	201	52	641	21	1,763	57	31	
8月	53	64	31	217	183	39	470	15	1,466	47	31	
9月	53	62	23	949	241	61	1,274	42	2,512	84	30	
10月	56	62	63	1,723	222	53	2,061	66	3,549	114	31	
11月	57	62	40	2,206	361	55	2,662	89	4,239	141	30	
12月	57	63	11	2,279	283	51	2,624	85	3,748	121	31	
平成24年1月	57	63	20	2,376	291	56	2,743	88	4,009	129	31	
2月	57	63	23	2,102	262	51	2,438	84	3,628	125	29	
3月	57	63	51	1,740	298	45	2,134	76	3,594	128	28	注2)
年間値	56	63	460	17,574	3,161	729	21,924	60	38,947	107	363	

注 1. 加重合計は、各々の時間帯に測定された機数について 19 時～22 時の機数を 3 倍、22 時～7 時の機数を 10 倍の重みづけをした合計機数

注 2 測定機器入替えのため 3 日間欠測

表 3-2(2) 航空機騒音調査結果 (美浜町野間 (ちびっこ広場))

年月	WECPNL	ピーク レベル の パワー 平均値 (dB)	測定された機数(機)								測定 日数 (日)	備考
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 0:00	月間 合計	日平均	月間 加重 合計 ^{注1)}	加重 合計の 日平均		
平成23年4月	55	61	37	1,342	461	90	1,930	64	3,995	133	30	
5月	53	61	37	959	335	68	1,399	45	3,014	97	31	
6月	52	61	18	681	182	55	936	31	1,957	65	30	
7月	51	63	12	359	120	37	528	17	1,209	39	31	
8月	51	65	11	141	111	38	301	10	964	31	31	
9月	50	63	16	547	47	15	625	21	998	33	30	
10月	54	61	34	1,449	401	54	1,938	63	3,532	114	31	
11月	56	60	46	1,914	824	64	2,848	95	5,486	183	30	
12月	56	61	24	2,077	880	66	3,047	98	5,617	181	31	
平成24年1月	57	61	35	2,195	847	96	3,173	102	6,046	195	31	
2月	56	61	29	2,058	715	75	2,877	99	5,243	181	29	
3月	56	61	44	1,542	601	65	2,252	80	4,435	158	28	注2)
年間値	55	62	343	15,264	5,524	723	21,854	60	42,496	117	363	

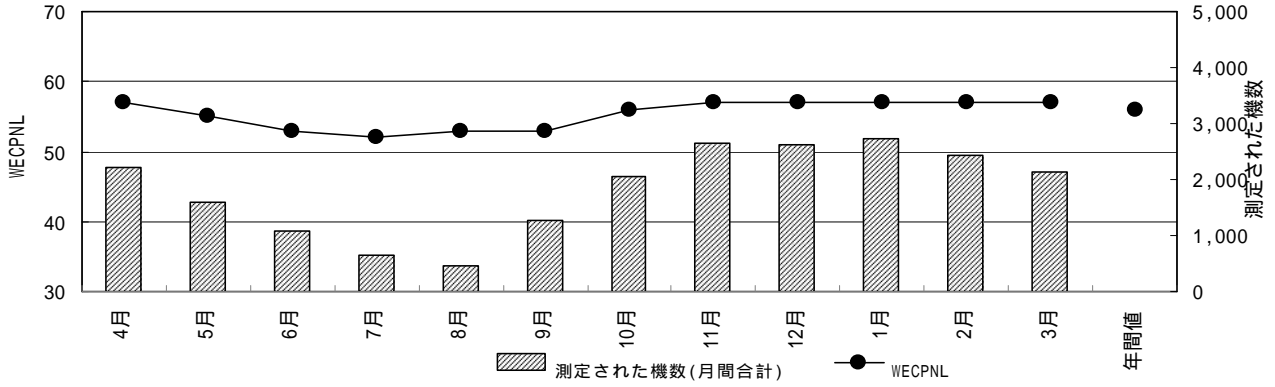
表 3-2(3) 航空機騒音調査結果 (弥富市立大藤小学校)

年月	WECPNL	ピーク レベル の パワー 平均値 (dB)	測定された機数(機)								測定 日数 (日)	備考
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 0:00	月間 合計	日平均	月間 加重	加重 合計の		
									合計 ^{注1)}	日平均		
平成23年4月	56	64	6	808	293	14	1,121	37	1,887	63	30	
5月	58	65	6	1,206	342	17	1,571	51	2,462	79	31	
6月	58	65	15	1,602	522	12	2,151	72	3,438	115	30	
7月	59	65	15	1,663	639	15	2,332	75	3,880	125	31	
8月	59	64	11	1,726	635	25	2,397	77	3,991	129	31	
9月	58	65	4	1,297	521	17	1,839	61	3,070	102	30	
10月	56	63	2	889	346	6	1,243	40	2,007	65	31	
11月	51	62	0	417	99	3	519	17	744	25	30	
12月	45	60	2	246	36	0	284	9	374	12	31	
平成24年1月	43	60	0	174	29	1	204	7	271	9	31	
2月	48	61	1	222	59	0	282	10	409	14	29	
3月	53	63	2	434	157	6	599	21	985	35	28	注2)
年間値	56	63	64	10,684	3,678	116	14,542	40	23,518	65	363	

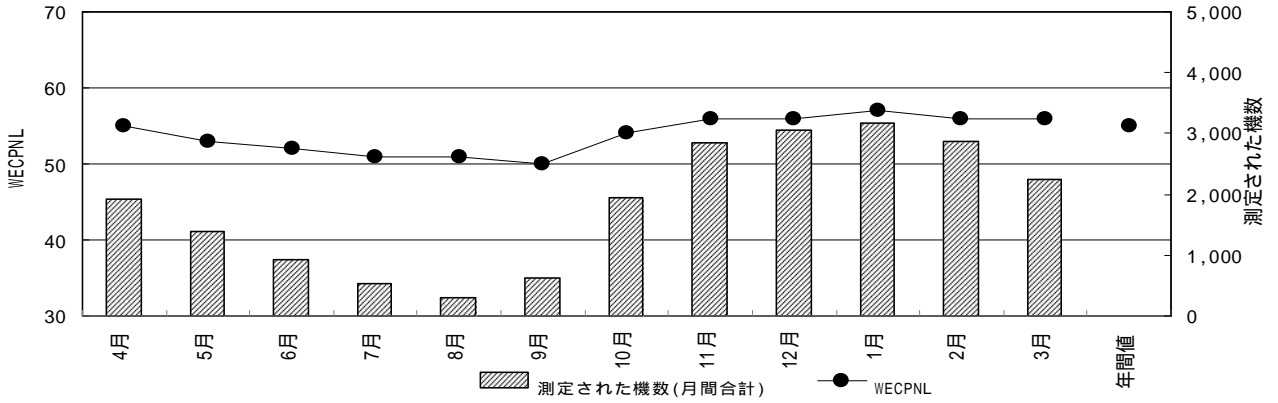
表 3-2(4) 航空機騒音調査結果 (木曾岬町東部公民館)

年月	WECPNL	ピーク レベル の パワー 平均値 (dB)	測定された機数(機)								測定 日数 (日)	備考
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 0:00	月間 合計	日平均	月間 加重	加重 合計の		
									合計 ^{注1)}	日平均		
平成23年4月	57	65	7	776	298	16	1,097	37	1,900	63	30	
5月	58	65	6	1,210	384	20	1,620	52	2,622	85	31	
6月	59	65	16	1,601	520	14	2,151	72	3,461	115	30	
7月	59	65	16	1,616	630	15	2,277	73	3,816	123	31	
8月	59	64	11	1,753	664	26	2,454	79	4,115	133	31	
9月	58	65	4	1,327	528	18	1,877	63	3,131	104	30	
10月	56	64	3	870	325	6	1,204	39	1,935	62	31	
11月	51	62	0	407	92	3	502	17	713	24	30	
12月	45	62	1	199	18	0	218	7	263	8	31	
平成24年1月	43	60	0	150	24	1	175	6	232	7	31	
2月	50	64	1	206	57	0	264	9	387	13	29	
3月	54	64	2	425	158	6	591	21	979	35	28	注2)
年間値	56	64	67	10,540	3,698	125	14,430	40	23,554	65	363	

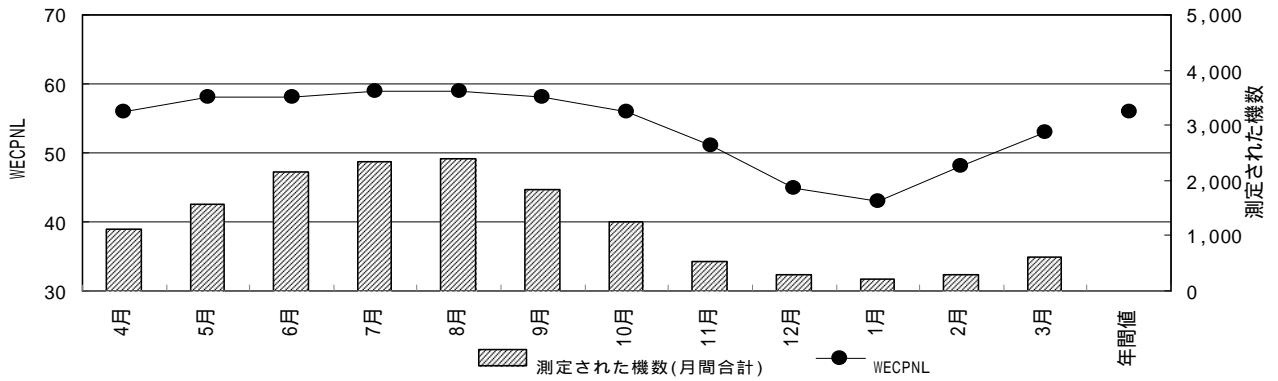
常滑市立鬼崎中学校



美浜町野間(ちびっこ広場)



弥富市立大藤小学校



木曾岬町東部公民館

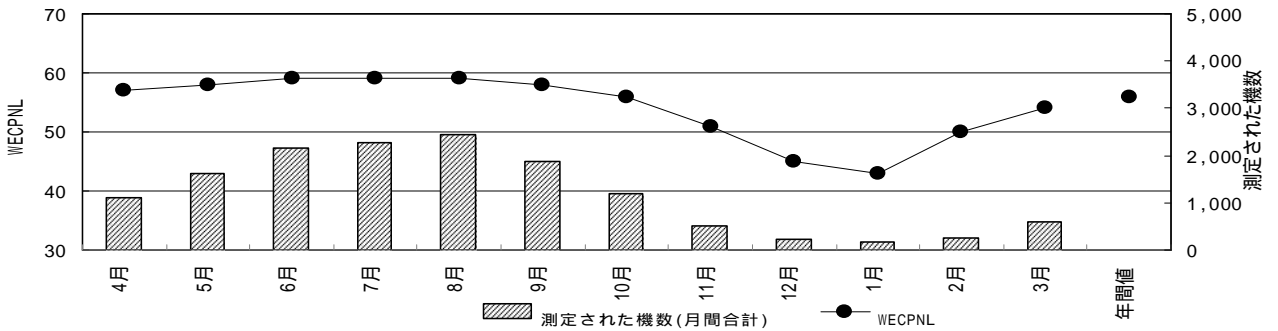
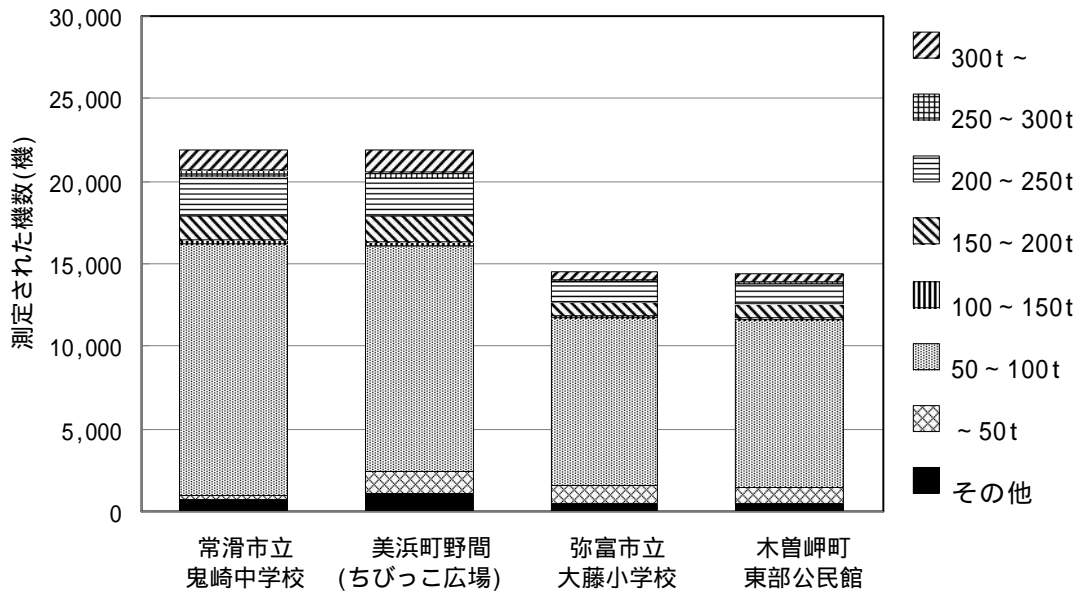


図 3-2 調査地点別の WECPNL 及び測定された機数



注 1. 調査期間は平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日
 2. その他は重さが不明な軽飛行機やビジネスジェット機等

図 3-3 調査地点における最大離陸重量別の測定された機数

表 3-3 最大離陸重量別主な航空機材リスト

最大離陸重量	機材
300t ~	ボーイング747-200
	ボーイング747-400
	ボーイング777-300/300ER
250 ~ 300 t	エアバスA340-300
	ボーイング747-300
200 ~ 250 t	エアバスA330-200
	エアバスA330-300
	ボーイング777-200/200ER
150 ~ 200 t	エアバスA300-600/600R
	ボーイング767-300/300ER
100 ~ 150 t	ボーイング757-200
50 ~ 100 t	エアバスA319-100
	エアバスA320-200
	エアバスA321-200
	ボーイング737-400
	ボーイング737-500
	ボーイング737-700
	ボーイング737-800
	ボーイング737-900
	~ 50 t
ボンバルディアCRJ7	

表 3-4 ピークレベルの度数分布（常時監視）

常滑市立鬼崎中学校

年月	測定された機数（機）					
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
平成23年4月	45	876	1,072	175	39	2,207
5月	48	749	652	118	29	1,596
6月	24	613	366	58	13	1,074
7月	19	342	232	40	8	641
8月	17	235	163	38	17	470
9月	15	672	503	73	11	1,274
10月	28	983	897	118	35	2,061
11月	23	1,119	1,311	165	44	2,662
12月	24	655	1,634	261	50	2,624
平成24年1月	31	752	1,660	248	52	2,743
2月	14	670	1,493	220	41	2,438
3月	15	601	1,261	218	39	2,134
合計	303	8,267	11,244	1,732	378	21,924
割合(%)	1.4	37.7	51.3	7.9	1.7	100.0

美浜町野間（ちびっこ広場）

年月	測定された機数（機）					
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
平成23年4月	199	1,040	600	76	15	1,930
5月	125	845	357	62	10	1,399
6月	129	559	183	56	9	936
7月	34	301	139	44	10	528
8月	8	141	97	50	5	301
9月	10	342	217	45	11	625
10月	137	1,156	561	70	14	1,938
11月	212	1,765	779	78	14	2,848
12月	139	1,616	1,136	143	13	3,047
平成24年1月	200	1,736	1,094	126	17	3,173
2月	225	1,553	968	113	18	2,877
3月	158	1,171	808	99	16	2,252
合計	1,576	12,225	6,939	962	152	21,854
割合(%)	7.2	55.9	31.8	4.4	0.7	100.0

弥富市立大藤小学校

年月	測定された機数（機）					
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
平成23年4月	49	144	491	395	42	1,121
5月	29	199	685	595	63	1,571
6月	7	324	1,120	646	54	2,151
7月	0	273	1,311	683	65	2,332
8月	4	263	1,420	660	50	2,397
9月	6	219	921	634	59	1,839
10月	42	232	514	417	38	1,243
11月	41	124	236	109	9	519
12月	65	98	92	25	4	284
平成24年1月	49	73	71	10	1	204
2月	40	84	112	41	5	282
3月	45	153	225	162	14	599
合計	377	2,186	7,198	4,377	404	14,542
割合(%)	2.6	15.0	49.5	30.1	2.8	100.0

木曾岬町東部公民館

年月	測定された機数（機）					
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
平成23年4月	15	84	440	509	49	1,097
5月	8	133	683	727	69	1,620
6月	3	176	1,132	779	61	2,151
7月	2	189	1,317	711	58	2,277
8月	2	251	1,433	731	37	2,454
9月	4	168	971	677	57	1,877
10月	14	171	490	492	37	1,204
11月	17	115	248	114	8	502
12月	11	70	109	26	2	218
平成24年1月	24	60	80	10	1	175
2月	22	68	123	43	8	264
3月	13	107	257	192	22	591
合計	135	1,592	7,283	5,011	409	14,430
割合(%)	0.9	11.0	50.6	34.7	2.8	100.0

イ 定期監視結果

平成 23 年 6 月 4 日～24 日の定期監視 1 回目及び平成 24 年 2 月 4 日～24 日の定期監視 2 回目の調査結果は、表 3-5 のとおりである。

定期監視 1 回目の WECPNL は 36～59 の範囲であり、定期監視 2 回目の WECPNL は 38～52 の範囲であった。

定期監視 1 回目のピークレベルの度数分布は表 3-6 のとおりである。

70dB 以上のピークレベルが測定されたのは、愛知県海部地区では弥富市(A2、A3) 三重県では桑名市(M1)、木曾岬町(M2)、四日市市(M3)であった。

定期監視 2 回目のピークレベルの度数分布は表 3-7 のとおりである。

70dB 以上のピークレベルが測定されたのは、愛知県知多地区では南知多町(T2)、愛知県海部地区では弥富市(A2、A3)、三重県では木曾岬町(M2)であった。

また、各調査地点の測定機数は常時監視結果と同様、空港島周辺の風向きが運用方向に影響するため、空港島に近い常滑市立西小学校や空港島の南側にある南知多町町民会館体育館、三重県伊勢市神社みなとまち館では、冬場の北風が吹くときに多くなっている。

一方で、空港島の北側にある愛知県海部地区、三重県の桑名市大山田地区市民センター、木曾岬町農村集落多目的共同利用施設では、夏場に南風が吹くときに多くなっている。

表 3-5(1) 航空機騒音調査結果（定期監視：1回目）

調査地点				調査期間	調査結果											
地区	番号	市町村名	施設名称		WECPNL	ピークレベルの パワー 平均値 (dB)	測定された機数(機)								加重 合計 ^{注)}	加重 合計の 日平均
							0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 0:00	合計	日平均				
愛知県 知多地区	T1	常滑市	常滑西小学校	H23.06.04 ~ H23.06.10	51	60	4	79	81	13	177	25	492	70		
	T2	南知多町	町民会館体育館	H23.06.04 ~ H23.06.10	42	59	2	16	1	4	23	3	79	11		
愛知県 海部地区	A1	愛西市	愛西市役所	H23.06.18 ~ H23.06.24	48	63	0	32	31	0	63	9	125	18		
	A2	弥富市	十四山西部小学校	H23.06.18 ~ H23.06.24	54	62	2	341	63	0	406	58	550	79		
	A3	弥富市	鍋田公民館	H23.06.18 ~ H23.06.24	59	65	2	384	116	4	506	72	792	113		
三重県	M1	桑名市	大山田地区市民センター	H23.06.18 ~ H23.06.24	51	62	2	73	46	3	124	18	261	37		
	M2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	H23.06.18 ~ H23.06.24	53	60	2	368	95	2	467	67	693	99		
	M3	四日市市	海蔵地区市民センター	H23.06.18 ~ H23.06.24	36	71	0	1	0	0	1	0	1	0		
	M4	伊勢市	神社みなとまち館	H23.06.04 ~ H23.06.10	44	61	2	16	3	3	24	3	75	11		
	M5	鳥羽市	鳥羽東中学校	H23.06.04 ~ H23.06.10	39	63	1	1	0	0	2	0	11	2		

注. 加重合計は、各々の時間帯に測定された機数について19時~22時の機数を3倍、22時~7時の機数を10倍の重みづけをした合計機数

表 3-5(2) 航空機騒音調査結果（定期監視：2回目）

調査地点				調査期間	調査結果											
地区	番号	市町村名	施設名称		WECPNL	ピークレベルの パワー 平均値 (dB)	測定された機数(機)								加重 合計 ^{注)}	加重 合計の 日平均
							0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 0:00	合計	日平均				
愛知県 知多地区	T1	常滑市	常滑西小学校	H24.02.04 ~ H24.02.10	51	60	3	182	48	12	245	35	476	68		
	T2	南知多町	町民会館体育館	H24.02.04 ~ H24.02.10	50	62	2	35	44	6	87	12	247	35		
愛知県 海部地区	A1	愛西市	愛西市役所	H24.02.18 ~ H24.02.24	43	66	0	2	9	0	11	2	29	4		
	A2	弥富市	十四山西部小学校	H24.02.18 ~ H24.02.24	49	61	0	47	35	0	82	12	152	22		
	A3	弥富市	鍋田公民館	H24.02.18 ~ H24.02.24	52	63	0	52	41	0	93	13	175	25		
三重県	M1	桑名市	大山田地区市民センター	H24.02.18 ~ H24.02.24	41	60	0	18	6	0	24	3	36	5		
	M2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	H24.02.18 ~ H24.02.24	47	58	0	61	33	0	94	13	160	23		
	M3	四日市市	海蔵地区市民センター	H24.02.18 ~ H24.02.24	38	63	0	1	1	1	3	0	14	2		
	M4	伊勢市	神社みなとまち館	H24.02.04 ~ H24.02.10	51	61	2	79	72	5	158	23	365	52		
	M5	鳥羽市	鳥羽東中学校	H24.02.04 ~ H24.02.10	39	62	0	6	4	0	10	1	18	3		

表 3-6 航空機騒音のピークレベルの度数分布（定期監視 1 回目）

調査地点				測定された機数（機）					
地区	番号	市町村名	施設名	55dB	55dB	60dB	65dB	70dB	合計
				未満	～ 60dB	～ 65dB	～ 70dB	以上	
愛知県 知多地区	T1	常滑市	常滑西小学校	35	88	45	9	0	177
	T2	南知多町	町民会館体育館	4	12	7	0	0	23
愛知県 海部地区	A1	愛西市	愛西市役所	0	19	37	7	0	63
	A2	弥富市	十四山西部小学校	28	155	184	38	1	406
	A3	弥富市	鍋田公民館	1	25	310	154	16	506
三重県	M1	桑名市	大山田地区市民センター	8	69	36	10	1	124
	M2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	148	184	107	25	3	467
	M3	四日市市	海蔵地区市民センター	0	0	0	0	1	1
	M4	伊勢市	神社みなとまち館	2	15	5	2	0	24
	M5	鳥羽市	鳥羽東中学校	0	0	2	0	0	2

注. 定期監視 1 回目は平成 23 年 6 月 4 日～6 月 24 日に実施

表 3-7 航空機騒音のピークレベルの度数分布（定期監視 2 回目）

調査地点				測定された機数（機）					
地区	番号	市町村名	施設名	55dB	55dB	60dB	65dB	70dB	合計
				未満	～ 60dB	～ 65dB	～ 70dB	以上	
愛知県 知多地区	T1	常滑市	常滑西小学校	21	155	64	5	0	245
	T2	南知多町	町民会館体育館	30	29	18	9	1	87
愛知県 海部地区	A1	愛西市	愛西市役所	0	3	3	5	0	11
	A2	弥富市	十四山西部小学校	2	32	35	12	1	82
	A3	弥富市	鍋田公民館	6	15	35	33	4	93
三重県	M1	桑名市	大山田地区市民センター	0	16	8	0	0	24
	M2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	22	48	21	2	1	94
	M3	四日市市	海蔵地区市民センター	0	0	2	1	0	3
	M4	伊勢市	神社みなとまち館	24	63	56	15	0	158
	M5	鳥羽市	鳥羽東中学校	0	3	7	0	0	10

注. 定期監視 2 回目は平成 24 年 2 月 4 日～2 月 24 日に実施

(2) 航空機騒音の項目別比較検討

評価を行うにあたり、次の と について比較・検討した。

環境基準値との比較

環境監視結果について、環境基準値（ 類型の基準値 70WECPNL）と比較した。

開港後の推移

開港後の変動傾向を把握した。

ア 環境基準値との比較

(ア) 常時監視結果

平成 23 年度の常時監視 4 地点における年間値は表 3-8 のとおりである。

WECPNL の年間値は常滑市立鬼崎中学校では 56、美浜町野間（ちびっこ広場）では 55、弥富市立大藤小学校では 56、木曾岬町東部公民館では 56 であった。環境基準値と比較した結果、4 地点全てにおいて航空機騒音の環境基準（ 類型の基準値 70WECPNL、以下同じ）を満たしていた。

なお、月別の WECPNL の値は、空港島の北側にある調査地点では春から夏が高くなり、空港島の周辺や南側にある調査地点では秋から冬が高い値となった。これは、春から夏は南向き運用比率が高く、秋から冬は北向き運用比率が高いためである。

(イ) 定期監視結果

平成 23 年度の定期監視 10 地点における 1 回目、2 回目の調査結果及び年間値は表 3-9 及び図 3-4 のとおりである。

WECPNL の年間値は 37～57 の範囲にあり、環境基準値と比較した結果、10 地点全てにおいて航空機騒音の環境基準を満たしていた。

図 2-4 に示したとおり運用比率は、定期監視 1 回目が行われた平成 23 年 6 月は南向き運用比率が高く、定期監視 2 回目が行われた平成 24 年 2 月は北向き運用比率が高かった。その結果、空港島の北側にある愛知県海部地区(A1、A2、A3)や三重県の桑名市(M1)、木曾岬町(M2)、では 1 回目の調査結果が 2 回目より高い値となり、空港島の南側にある南知多町(T2)や三重県の伊勢市(M4)では 2 回目の調査結果の方が高い値となっていた。

なお、参考までに、愛知県及び三重県が実施した中部国際空港に係る航空機騒音の調査結果を表 3-10 及び表 3-11 に示す。

【航空機騒音に係る環境基準について】

< 中部国際空港の航空機騒音に係る環境基準 >

該当地域		地域の 類型	基準値	施行
愛知県	常滑市、弥富市、海部郡飛島村並びに知多郡南知多町及び美浜町の区域。ただし、空港島の区域、河川区域及び工業専用地域を除く。		70WECPNL 以下	平成18年4月1日
三重県	桑名市の長島町、鳥羽市の答志島及び木曾岬町の区域。ただし、河川区域を除く。			平成19年4月1日

表 3-8 航空機騒音調査結果（常時監視）

調査期間：平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

調査地点	WECPNL	ピーク レベル の パワー 平均値 (dB)	測定された機数（機）								測定 日数 (日) 注2)
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 0:00	年間 合計	日平均	年間 加重 合計 ^{注1)}	加重 合計の 日平均	
常滑市立 鬼崎中学校	56	63	460	17,574	3,161	729	21,924	60	38,947	107	363
美浜町野間 (ちびっこ広場)	55	62	343	15,264	5,524	723	21,854	60	42,496	117	363
弥富市立 大藤小学校	56	63	64	10,684	3,678	116	14,542	40	23,518	64	363
木曾岬町 東部公民館	56	64	67	10,540	3,698	125	14,430	39	23,554	64	363

注 1. 年間加重合計は、各々の時間帯に測定された機数について 19 時～22 時の機数を 3 倍、22 時～7 時の機数を 10 倍の重みづけをした合計機数

注 2 測定日数は、測定機器入替えのため 3 日間欠測

備考：環境基準値（ 類型 ）は、年間値が 70WECPNL である

表 3-9 航空機騒音調査結果（定期監視）

調査地点			調査結果								
			1回目 ^{注1)}			2回目 ^{注1)}			年間値（2回の平均）		
地区	番号 市町村名	施設名称	WEC PNL	ピーク レベルの パワー 平均値 (dB)	測定された 機数の 日平均 (機) ^{注2)}	WEC PNL	ピーク レベルの パワー 平均値 (dB)	測定された 機数の 日平均 (機) ^{注2)}	WEC PNL	ピーク レベルの パワー 平均値 (dB)	測定された 機数の 日平均 (機) ^{注2)}
愛知県知多地区	T1 常滑市	常滑西小学校	51	60	25	51	60	35	51	60	30
	T2 南知多町	町民会館体育館	42	59	3	50	62	12	48	61	8
愛知県海部地区	A1 愛西市	愛西市役所	48	63	9	43	66	2	46	65	6
	A2 弥富市	十四山西部小学校	54	62	58	49	61	12	52	62	35
	A3 弥富市	鍋田公民館	59	65	72	52	63	13	57	64	43
三重県	M1 桑名市	大山田地区市民センター	51	62	18	41	60	3	48	61	11
	M2 木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	53	60	67	47	58	13	51	59	40
	M3 四日市市	海蔵地区市民センター	36	71	0	38	63	0	37	69	0
	M4 伊勢市	神社みなとまち館	44	61	3	51	61	23	49	61	13
	M5 鳥羽市	鳥羽東中学校	39	63	0	39	62	1	39	63	1

注1. 1回目は平成23年6月4日～24日に、2回目は平成24年2月4日～24日に実施

注2. 測定された機数とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

備考：環境基準値（類型）は、年間値が70WECPNLである。

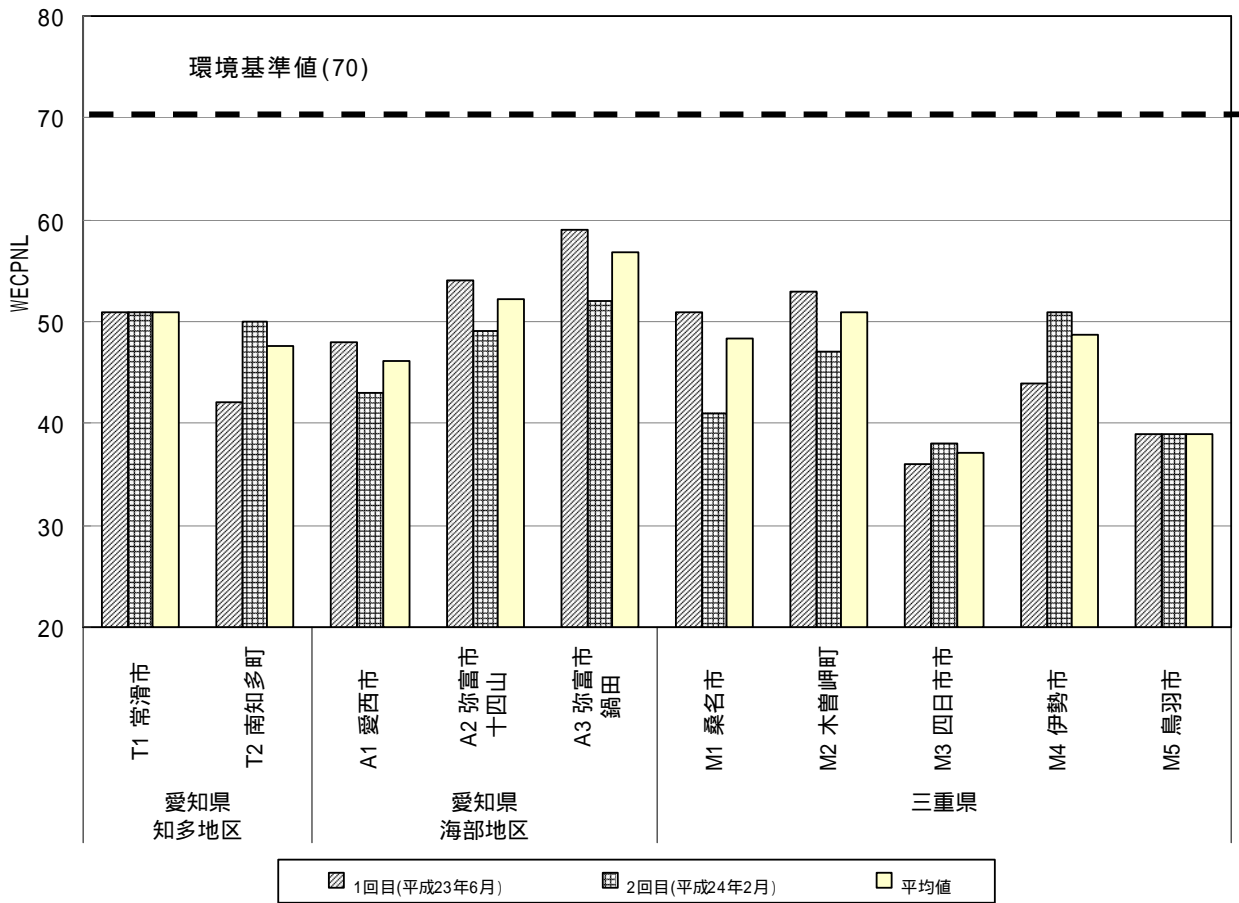


図 3-4 調査地点の WECPNL (定期監視)

表 3-10 中部国際空港に係る愛知県の航空機騒音の調査結果

調査地点	調査期間	WECPNL	地域の類型
常滑市樽水町	平成23.6.29 ~ 7.5	49	
	平成24.1.28 ~ 2.3	53	
南知多町大字豊浜	平成23.6.10 ~ 16	43	
	平成24.2.15 ~ 21	48	
美浜町大字上野間	平成23.6.18 ~ 24	42	
	平成24.2.7 ~ 13	45	
知多市南粕谷本町	平成24.2.23 ~ 29	44	-
飛島村大字服岡	平成23.8.3 ~ 9	43	
	平成24.1.11 ~ 17	46	
愛西市稲葉町	平成23.7.23 ~ 29	50	-
弥富市鍋田町	平成23.7.7 ~ 13	58	
	平成24.3.3 ~ 9	56	

注： は類型指定されていないことを示す。

出典：愛知県ホームページ「あいちの環境 平成23年度騒音・振動に関する調査結果」から作成。

表 3-11 中部国際空港に係る三重県の航空機騒音の調査結果

調査地点	調査期間	WECPNL	地域の類型
木曽岬町大字和富	平成23.6.20 ~ 26	57	
桑名市長島町	平成23.6.8 ~ 14	48	
鳥羽市答志町	平成23.11.24 ~ 30	42	

出典：三重県ホームページ「中部国際空港に係る航空機騒音の調査結果（平成23年度）」から作成。

イ 開港後の推移

(ア) 常時監視結果

中部国際空港の開港後の変動傾向を把握するため、常時監視調査による航空機騒音の推移をとりまとめた。

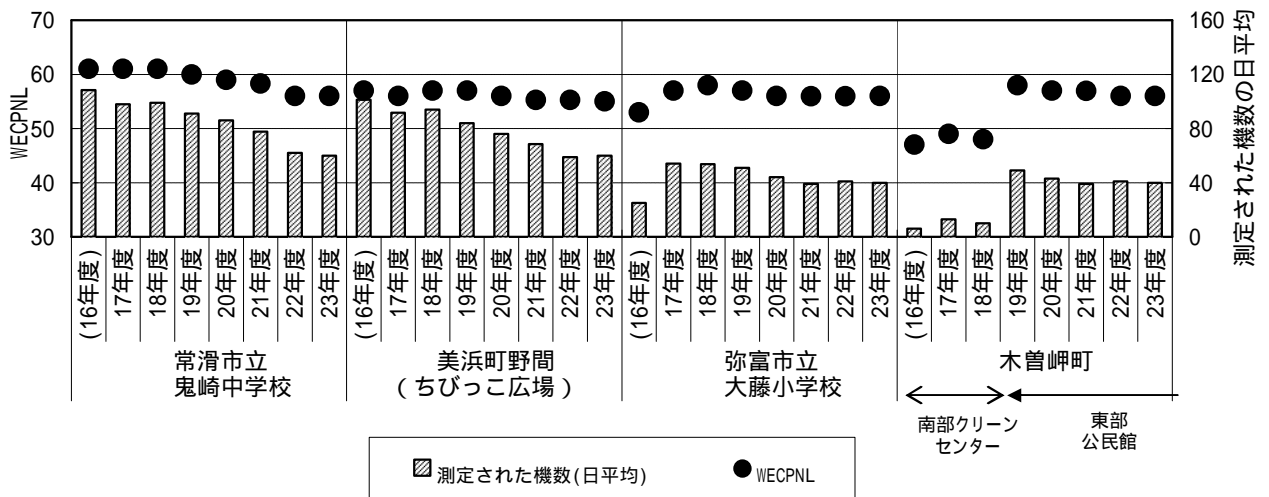
年度別の WECPNL 及び測定された機数の推移は表 3-12 及び図 3-5 のとおりである。なお、平成 16 年度は開港の年度で、2 月 17 日～3 月 31 日の値を集計したものであり、短期間の測定値であることから参考として示した。

表 3-12 年度別の WECPNL 及び測定機数

調査地点	WECPNL年間値								測定された機数の日平均 (機)							
	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
常滑市立 鬼崎中学校	(61)	61	61	60	59	58	56	56	(108)	98	99	91	86	78	62	60
美浜町野間 (ちびっこ広場)	(57)	56	57	57	56	55	55	55	(101)	92	94	84	76	68	59	60
弥富市立 大藤小学校	(53)	57	58	57	56	56	56	56	(25)	54	54	51	44	39	41	40
木曽岬町 東部公民館	(47)*	49*	48*	58	57	57	56	56	(6)*	13*	10*	49	43	39	41	40

注 1. ()内の数字は2月17日～3月31日の測定値を集計したものであり、参考として示した。

2 *の付いた数字は、木曽岬町南部クリーンセンターにおける測定値である。



注. 平成 16 年度は 2 月 17 日～3 月 31 日の測定値を集計したものであり、参考として示した。

図 3-5 年度別の WECPNL 及び測定機数の推移

比較のできる平成 17 年度以降の WECPNL 年間値は、常滑市立鬼崎中学校では毎年度下がる傾向であったが、平成 23 年度は前年度と同じ値であった。美浜町野間（ちびっこ広場）、弥富市立大藤小学校では毎年度同程度で推移している。また、木曾岬町では平成 19 年度に調査地点を南部クリーンセンターから東部公民館に変更して以降は毎年度同程度で推移している。

測定された機数の日平均も毎年度減少傾向にあり、平成 23 年度に常滑市立鬼崎中学校で測定された機数は最も多かった年度の 61% であり、美浜町野間（ちびっこ広場）ではそれが 64%、弥富市立大藤小学校では 74%、木曾岬町東部公民館では 82% となった。

(1) 定期監視結果

平成 17 年 2 月の開港後 1 年を経過した平成 18 年 2 月から年 2 回の定期監視を実施している。平成 17 年度が下半期 1 回、平成 18 年度から年 2 回の測定値が蓄積されたので、年 2 回の平均値として推移をとりまとめた。

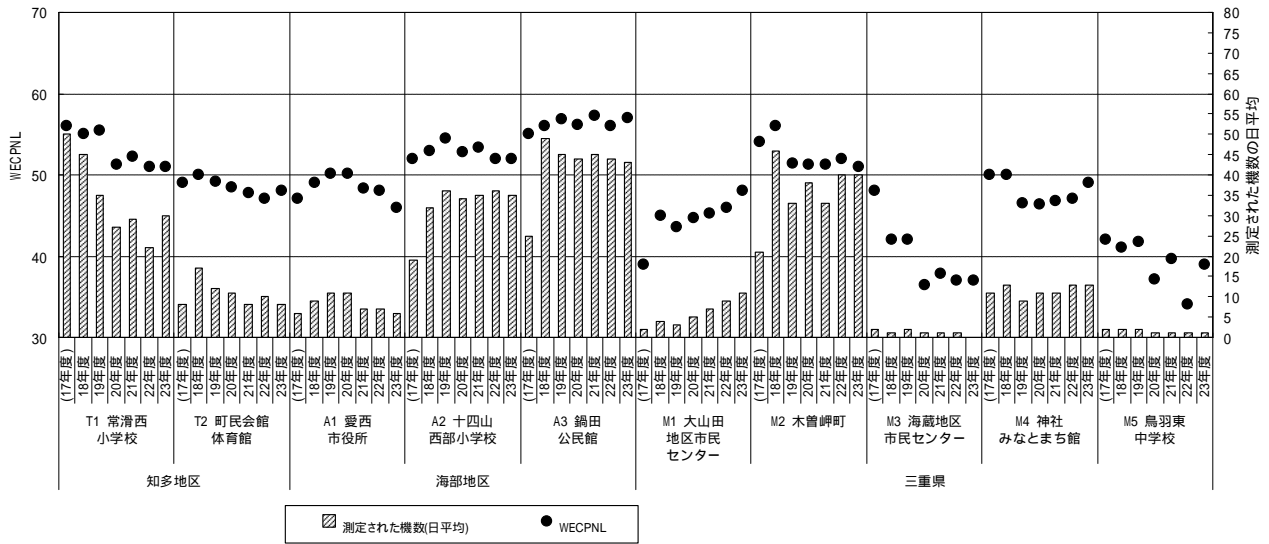
年度別の WECPNL 及び測定された機数の推移は表 3-13 及び図 3-6 のとおりである。

表 3-13 年度別の WECPNL 及び測定機数

地区	番号	調査地点		年間値(2回の平均)														
				WECPNL							測定された機数の日平均(機)							
				17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
愛知県	知多	T1	常滑市	常滑西小学校	(56)	55	55	51	52	51	51	(50)	45	35	27	29	22	30
		T2	南知多町	町民会館体育館	(49)	50	49	49	48	47	48	(8)	17	12	11	8	10	8
	海部	A1	愛西市	愛西市役所	(47)	49	50	50	48	48	46	(6)	9	11	11	7	7	6
		A2	弥富市	十四山西部小学校	(52)	53	55	53	53	52	52	(19)	32	36	34	35	36	35
		A3	弥富市	鍋田公民館	(55)	56	57	56	57	56	57	(25)	49	45	44	45	44	43
三重県	M1	桑名市	大山田地区市民センター	(39)	45	44	45	45	46	48	(2)	4	3	5	7	9	11	
	M2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	(54)*	56*	51	51	51	52	51	(21)*	46*	33	38	33	40	40	
	M3	四日市市	海蔵地区市民センター	(48)	42	42	36	38	37	37	(2)	1	2	1	1	1	0	
	M4	伊勢市	神社みなとまち館	(50)	50	47	46	47	47	49	(11)	13	9	11	11	13	13	
	M5	鳥羽市	鳥羽東中学校	(42)	41	42	37	40	34	39	(2)	2	2	1	1	1	1	

注 1 *の付いた数字は木曾岬町東部公民館における測定値である。

2. ()は年 1 回の測定値であり、参考として示した。



注. 平成 17 年度は下半期 1 回だけの測定値であり、参考として示した。

図 3-6 WECPNL 及び測定機数の年度別推移

(3) 航空機騒音の評価

平成 23 年度の常時監視 4 地点の WECPNL 年間値は 55～56 の範囲にあり、環境基準値(類型:70WECPNL 以下)と比較した結果、全調査地点で環境基準を満たしていた。また、開港後の推移では WECPNL 年間値は、同程度か減少傾向で推移した。

平成 23 年度の定期監視 10 地点の WECPNL 年間値は 37～57 の範囲にあり、環境基準値(類型:70WECPNL 以下)と比較した結果、全調査地点で環境基準を満たしていた。また、開港後の推移では WECPNL 年間値は、ほとんどの調査地点では同程度で推移した。

以上より、平成 23 年度の常時監視及び定期監視結果は全調査地点で環境基準を満たしており、開港後の推移でも大きな変化はみられなかった。

参考資料

中部国際空港に係る環境監視計画

中部国際空港に係る

環 境 監 視 計 画

2 0 1 0 年 4 月 改 定

中 部 国 際 空 港 株 式 会 社

目 次

第 1 章	環境監視についての基本的な考え方	1
1.1	環境監視の目的	1
1.2	環境監視計画の内容等	1
1.3	環境監視の実施	1
1.4	環境監視結果の評価	1
1.5	対策	1
1.6	環境監視結果の公開等	2
第 2 章	環境影響要因	4
2.1	環境影響要因	4
2.2	場所及び規模	4
2.3	航空機の運航	4
2.4	空港施設概要	4
第 3 章	環境監視計画	8
3.1	調査	8
3.2	環境監視情報処理システム	12

第1章 環境監視についての基本的な考え方

本計画は、2005年2月17日からの中部国際空港の供用に伴う周辺地域に対する環境影響を把握するため、事業者の責任において自主的に環境監視を実施する内容を定めたものである。

1.1 環境監視の目的

- (1) 中部国際空港の供用に伴う環境に及ぼす影響を把握し、必要に応じて適切な措置を講じることにより環境の保全を図る。
- (2) 環境監視の結果を広く一般に公開し、事業に対する理解の促進に努める。

1.2 環境監視計画の内容等

調査項目、調査地点、調査頻度などの環境監視計画の具体的な内容は、事業計画、環境影響評価書の内容及び環境監視結果を踏まえ設定する。

なお、環境監視計画については、必要に応じて見直しを行う。これに当たっては、専門分野の学識経験者及び関係自治体の意見を聴き、事業者が計画内容を定める。

1.3 環境監視の実施

環境監視については、環境監視計画に基づいて適切に実施する。

環境監視に当たっては、日常的にデータの検討を行うとともに、迅速な環境保全の措置を講じることができる体制の整備を図る。

1.4 環境監視結果の評価

環境監視結果については、専門分野の学識経験者の公正・中立な評価を受ける。

評価に当たっては、周辺地域に与える影響の程度を環境監視結果を基に行政機関等の一般環境データを参考として、環境基準や周辺地域の経年的な環境変化の傾向等と対比するなど、科学的・客観的に行う。

1.5 対策

環境監視結果等から何らかの異常があると認められる場合については、関係機関と連携して原因を究明するとともに、事業による環境への影響が認められる場合には、適切な対応を行う。

1.6 環境監視結果の公開等

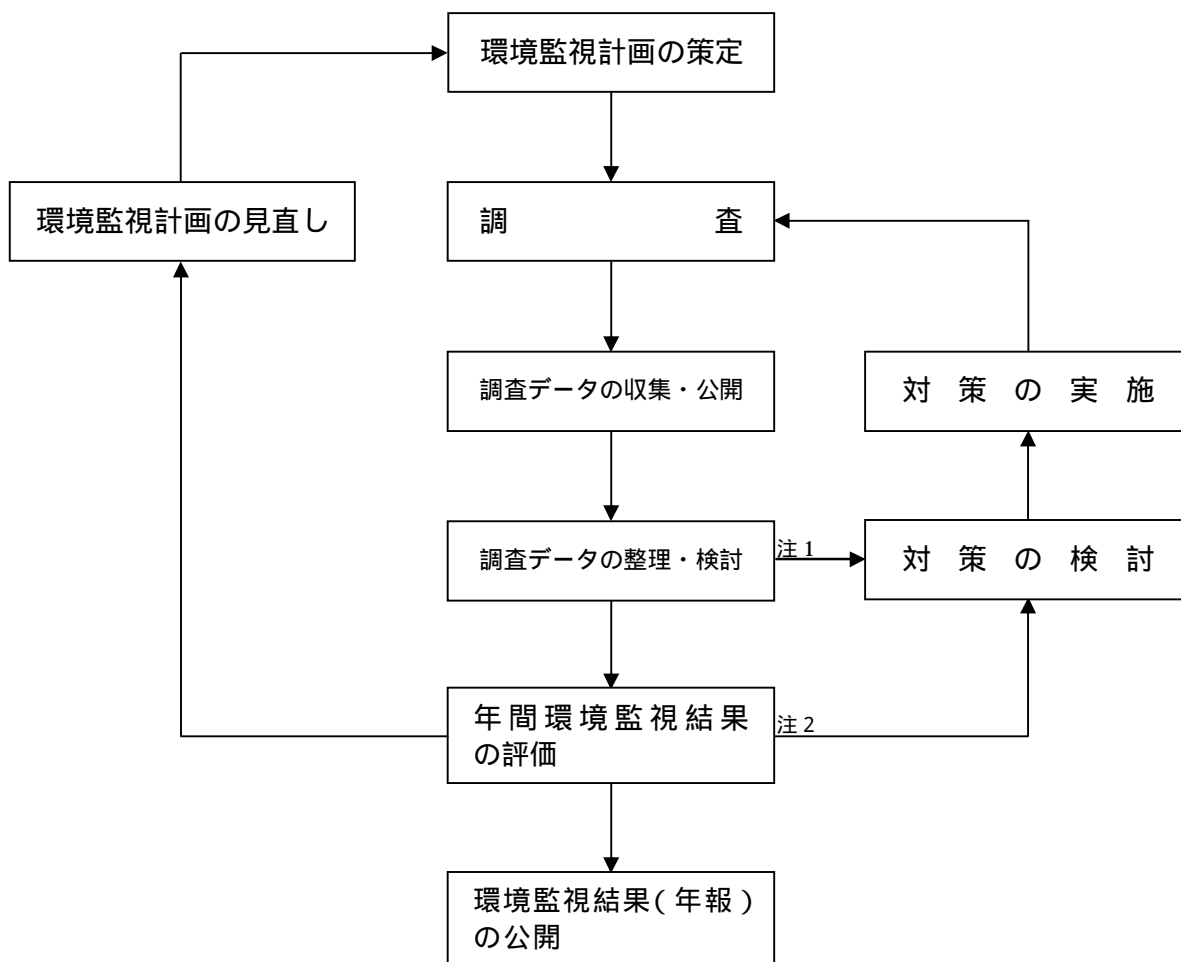
環境監視結果については、情報コーナーやインターネット等を用いて環境監視データの速報及び環境監視の評価結果を一般公開する。

環境監視結果の公開方法は、次のとおりとし、月報、年報については、岐阜・愛知・三重県、名古屋市、関係市町村等に報告する。

<環境監視結果の公開方法>

- ・ セントレア情報コーナーでのパソコン上でデータの公開
- ・ セントレア情報コーナー等での月報及び年報の公開
- ・ インターネットによるデータの公開

また、環境に関する理解や関心を深めていただくため、環境監視に係る調査項目や調査地点などをまとめたリーフレット等を作成する。



注1：日々の調査データを整理・検討した結果から、事業による環境への影響が認められる場合には、適切な対策を講じる。

注2：調査データについて、年間を通して評価された結果から、事業による環境への影響が認められる場合には、適切な対策を講じる。

図1 環境監視の概念図

第2章 環境影響要因

2.1 環境影響要因

空港の供用に係る環境影響要因として、中部国際空港の運用に伴う航空機の運航等がある。

2.2 場所及び規模

(1) 場所 (図2-1参照)

愛知県常滑市セントレアの一部 (空港用地)

(2) 規模

470ha

2.3 航空機の運航

(1) 飛行経路 (図2-2、2-3参照)

(2) 滑走路 1本、3500m

(3) 飛行機材 B737、B747、B767、B777、MD90、A320、A330等

(4) 離着陸回数 約10万回/年 (2008年度実績)

2.4 空港施設概要

離着陸施設 (滑走路、誘導路、航空保安施設等)

エプロン

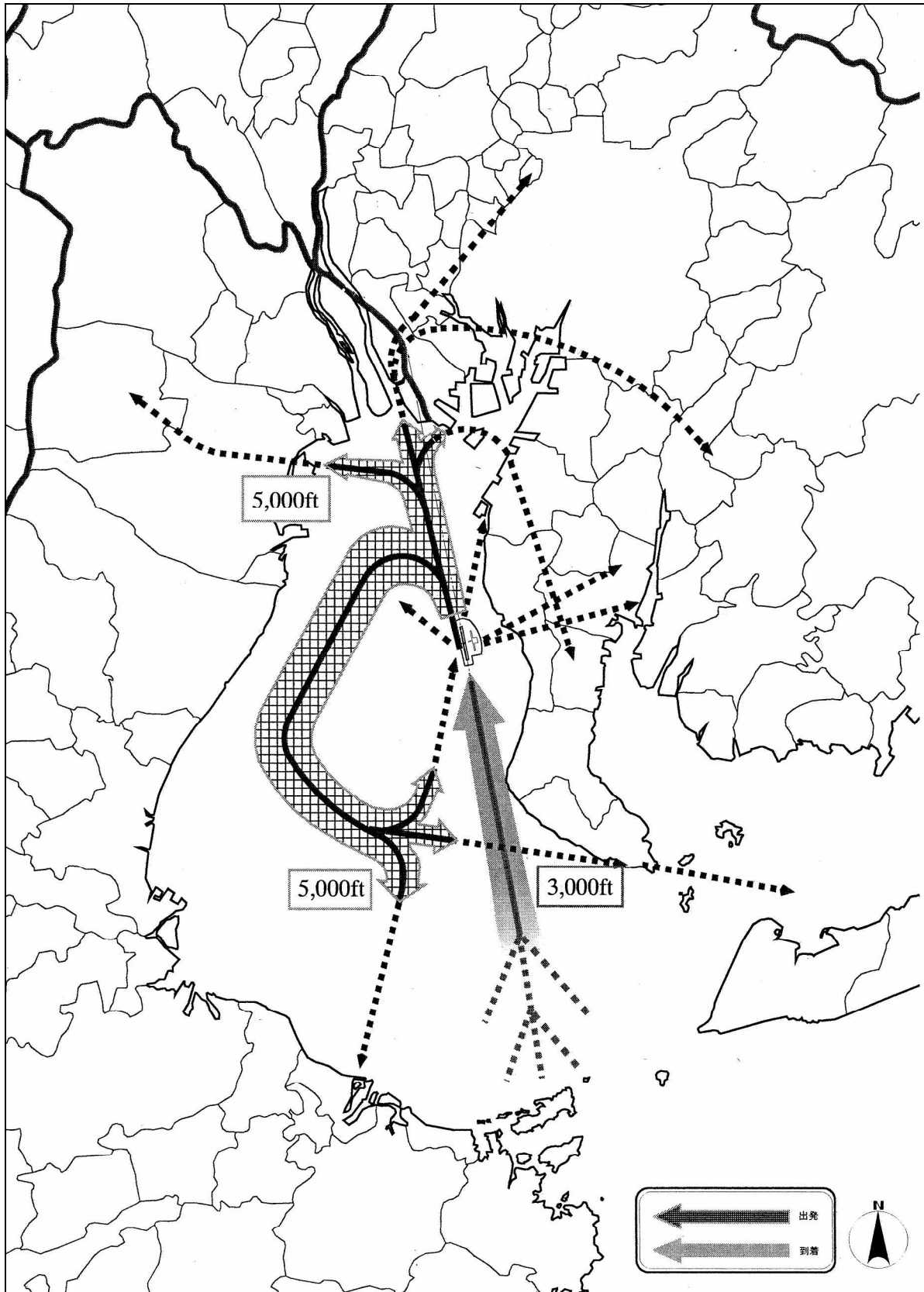
航空旅客取扱施設 (国内・国際旅客ターミナルビル、機内食工場等)

航空貨物取扱施設 (国内・国際貨物取扱施設)

管理施設 (庁舎、管制塔、空港管理棟等)

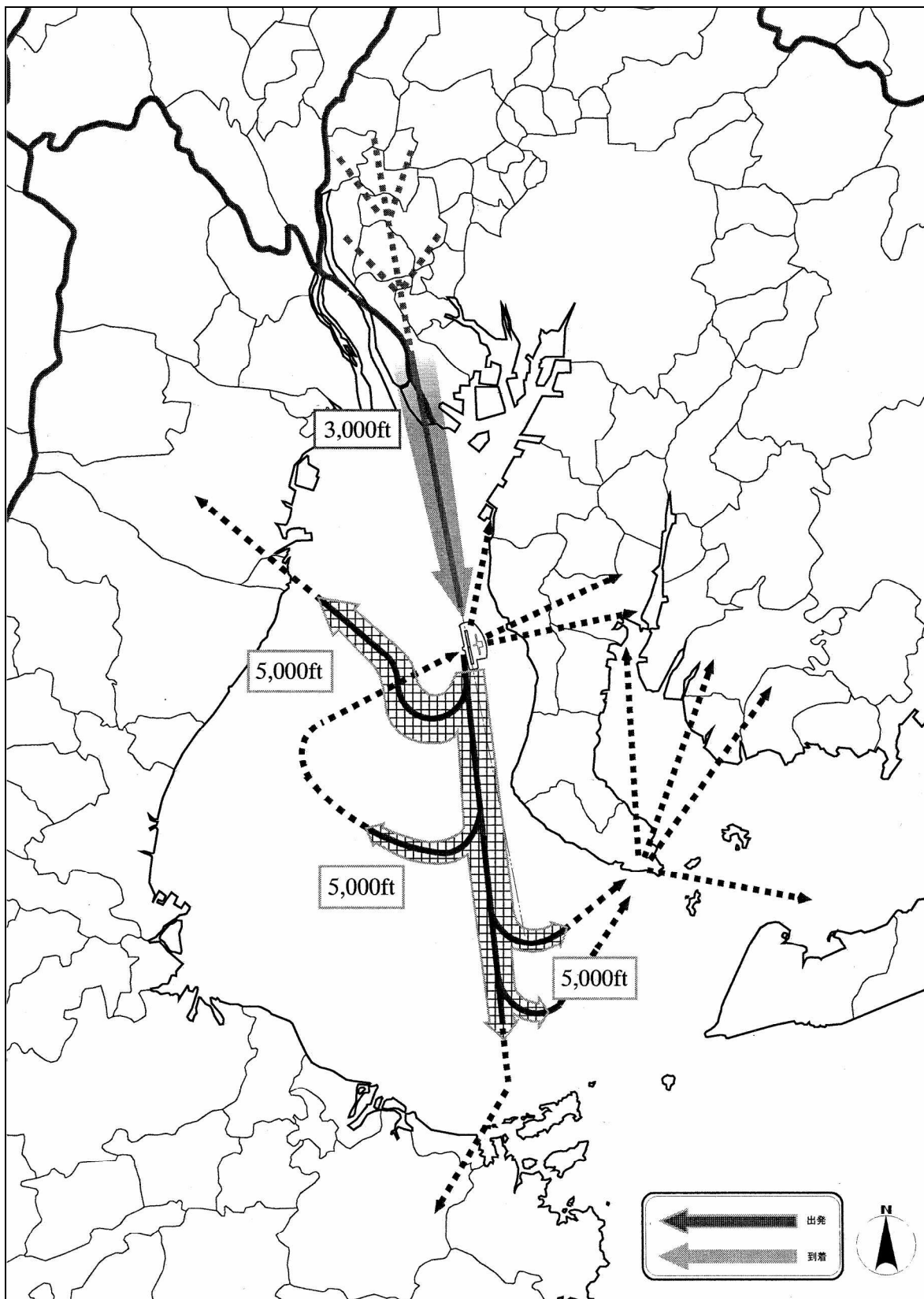
供給処理施設 (航空機給油施設、エネルギー供給施設等)

その他施設 (道路等)



* 出発5000フィート以下・到着3000フィート以下で飛行すると予想される区域

図 2 - 2 飛行経路 (北向き運用 : 6 ~ 23時)



* 出発5000フィート以下・到着3000フィート以下で飛行すると予想される区域

図 2 - 3 飛行経路 (南向き運用 : 6 ~ 23時)

第3章 環境監視計画

3.1 調査

(1) 調査の考え方

空港の供用が環境に及ぼす影響を適切に把握するため、以下の考え方に基づき調査を実施する。

なお、必要に応じて原因を究明するための調査や周辺環境の基礎情報を収集するための調査を実施する。

ア 調査項目

空港の供用に伴う環境影響、環境影響予測項目、環境監視結果を踏まえ、「騒音」を設定する。

イ 調査地点

地域の環境特性を考慮して、空港の供用による周辺環境への影響の程度が的確に把握できるよう配慮し設定する。

ウ 調査期間

周辺環境への影響の程度を考慮して設定する。

エ 調査頻度・時期

環境質の特性、空港の供用に伴う環境負荷の発生状況に応じ、環境の的確な把握が行えるように設定する。

オ 調査方法

各種法令やJIS等の規定に準拠する。

(2) 調査の内容

調査の内容は次のとおりである。

調査項目		調査地点	調査頻度・時期	調査方法	
騒音	航空機騒音	常時監視	図3 - 1 (4地点)	常時	表3
		定期監視 <small>注</small>	図3 - 1 (10地点)	年2回 (夏期・冬期)	表3

注 定期監視については、今後の調査結果を踏まえ、見直しを行う。

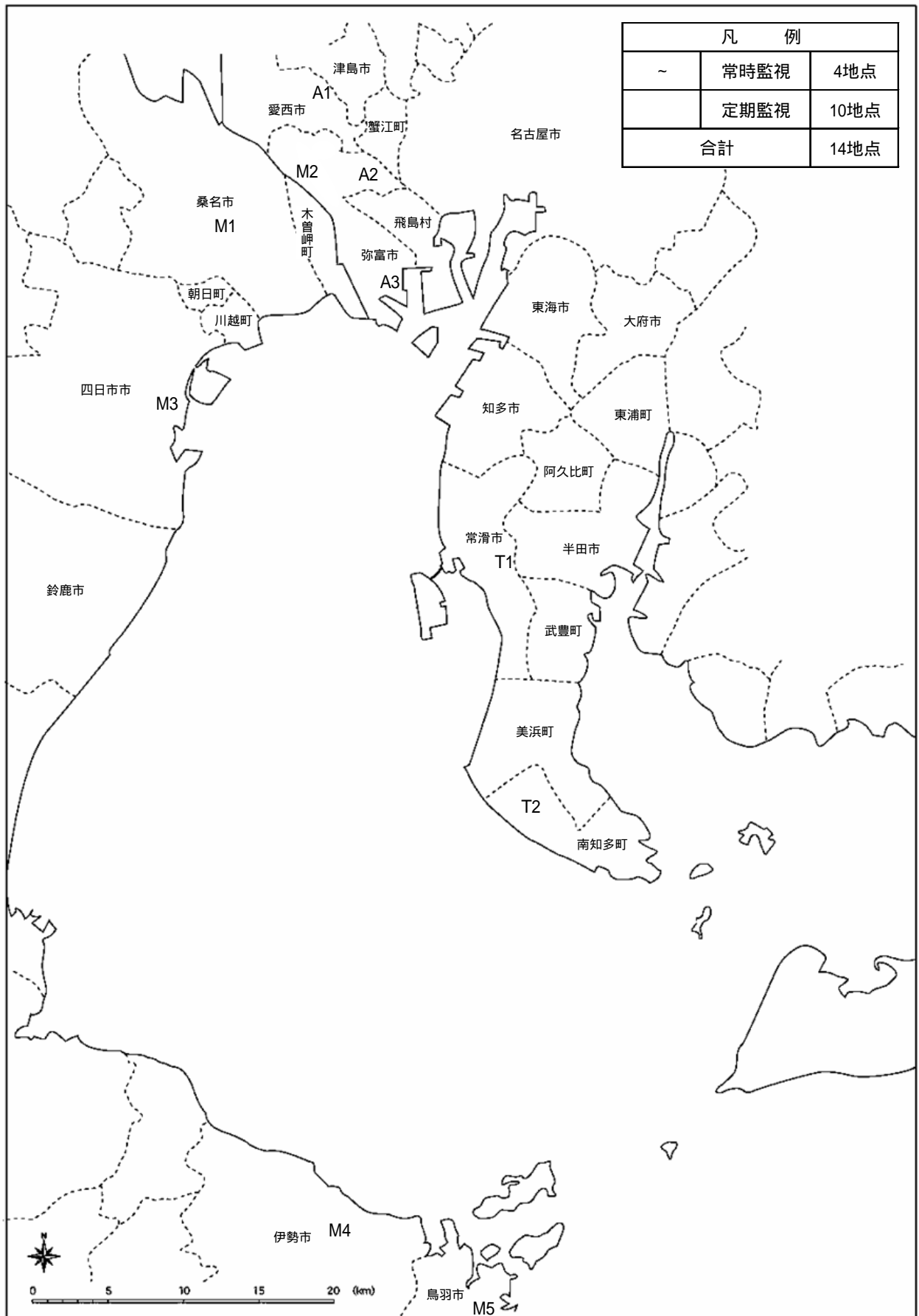


図 3 - 1 航空機騒音の調査地点

<航空機騒音調査地点一覧表>

1 常時監視地点

地 点	場 所
	常滑市立鬼崎中学校
	美浜町野間(ちびっこ広場)
	弥富市立大藤小学校
	木曾岬町東部公民館

2 定期監視地点

(1) 愛知県知多地区

地 点	場 所
T 1	常滑市立常滑西小学校
T 2	南知多町町民会館体育館

(2) 愛知県海部地区

地 点	場 所
A 1	愛西市役所
A 2	弥富市立十四山西部小学校
A 3	弥富市鍋田公民館

(3) 三重県

地 点	場 所
M 1	桑名市大山田地区市民センター
M 2	木曾岬町農村集落多目的共同利用施設
M 3	四日市市海蔵地区市民センター
M 4	伊勢市神社みなとまち館
M 5	鳥羽市立鳥羽東中学校

表3 航空機騒音

項 目	調 査 方 法
航空機騒音	「航空機騒音に係る環境基準について」(昭和48年環境庁告示第154号)及び「航空機騒音監視測定マニュアル」(昭和63年環境庁大気保全局編)に定める方法

3.2 環境監視情報処理システム

各種調査データの収集・処理を迅速かつ効率的に取り扱うため、テレメータシステム及びコンピュータを用いたデータ処理システムによってデータの収集・処理、管理を行う。

環境監視情報処理システム機能概要図は、図3-2のとおりである。

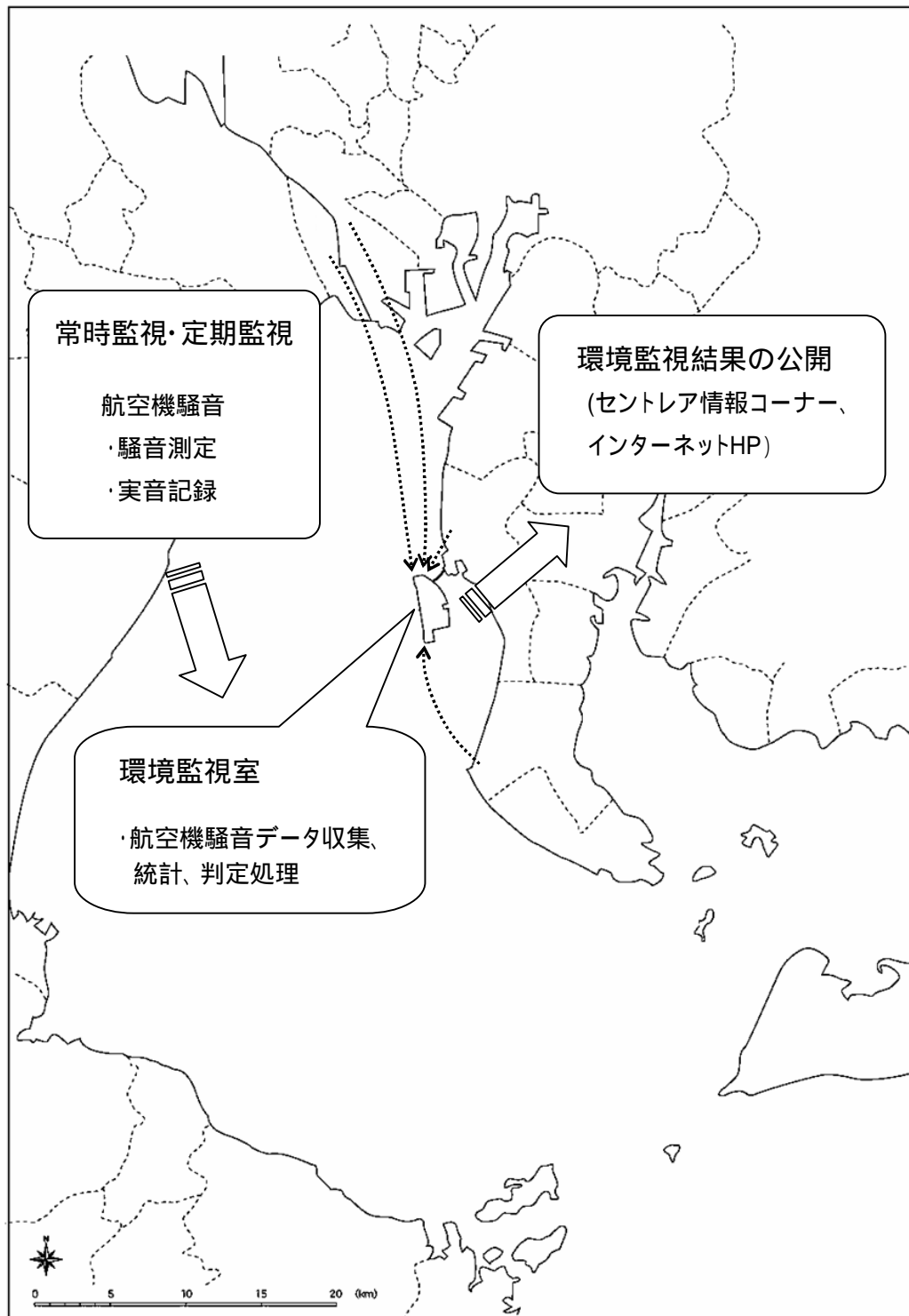


図3-2 環境監視情報処理システム機能概要図

平成24年10月発行

中部国際空港株式会社
経営企画部 空港計画グループ